

日機装(株)
インダストリアル事業本部
流体技術センター長
持田 効雄 様

詳細・お申込はこちら→

ご高覧及び、関連部署の方々へもご回覧いただけますようお願い申し上げます。
■セミナーのご案内① ■(今までのお申込み企業名を3項目に掲載しております。)



R&D 人材に求められる「技術リーダー」

～技術戦略・チーム活性・価値創出を担う実践型のリーダーになる～

一講 師一

株式会社ケミストリーキューブ 代表取締役 イノベーションコンサルタント 平木 鑑 氏

日 時 2025年11月20日(木) 午後1時～3時

受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)

会 場 SSKセミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

[重点講義内容]

これまで、多くの企業において、組織を運営・管理するマネージャーと、特定技術分野におけるスペシャリストが、技術者、研究者のキャリアとして設定されてきました。しかし、不確実性が高まる今、社会の課題や顧客のニーズを先取りし、イノベーションを生み出す価値創造力が求められるなかで、従来のマネージャーとスペシャリストとは異なる新たなキャリアとして「技術リーダー」の重要性が高まっています。

本講演では、技術を核にした価値創造の中核を担う「技術リーダー」をテーマとして、その役割、求められる能力、そして育成の考え方について事例を交えて解説します。

1. 技術リーダーの時代

- (1)企業を取り巻く変化と危機感
- (2)イノベーションの時代
- (3)変化するR&Dの役割と現場の悩み
- (4)R&D自己変革と技術リーダー

2. 技術リーダーとは

- (1)技術者、研究者の新たなキャリア
- (2)技術リーダーの位置付けと役割
- (3)技術リーダーに求められるスキルとマインド
- (4)生成リーダー育成の考え方

3. 技術リーダーシップの実践～技術リーダーのためのマネジメント技術～

- (1)リーダーシップとマネジメントの関係
- (2)ビジョンの創造
- (3)技術戦略の立案
- (4)チームの活性化

4. 技術リーダーの育成

- (1)技術リーダーは担当者の延長線長ではない
- (2)技術リーダーをキャリアとして位置付ける
- (3)基本は経験学習
- (4)技術リーダーが活躍する組織へ向けて

5. 質疑応答／名刺交換

技術戦略は事業成長エンジン

～ 事業ビジョンを源流に技術ロードマップを含めて事業戦略と統合 ～

一講師

株式会社日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 木村 寿男 氏

日 時 2025年12月4日(木) 午後1時～4時30分

受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)

会 場 SSKセミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

【開催趣旨】

科学技術立国を目指す日本、そして日本企業には多くの壁や難題が待ち受けています。1990年代前半に起きたバブル経済崩壊以降、短期志向・利益偏重の経営が主流となり、イノベーション停滞の時代が長らく続いています。

しかしながら、そのような中でも、技術を機軸に持続的な事業成長・企業成長を実現させている企業が少なからず存在しています。

日本企業、特に製造業において、技術が唯一無二の成長ドライバーです。事業ビジョンを源流に、事業戦略と技術戦略を融合させ、技術の価値と製品・サービスの価値をスパイラルアップさせていくことが重要です。本セミナーでは、今求められる技術戦略のコンセプト、技術ロードマップを含めた技術戦略の具体的な策定方法を具体的な事例とともに詳説いたします。

【修得知識】

1. 技術戦略の再定義 — 今求められる技術戦略の基本コンセプト
2. 事業ビジョンを源流とした事業戦略と技術戦略の融合の仕方
3. 技術ロードマップを含む詳細な技術戦略策定プロセス

【プログラム】

1. 「技術戦略」を取り巻く経営環境の変化

- ・「科学技術立国」の道が遠のいている
- ・科学技術力を支える日本の経済的地位の低下
- ・“イノベーションのジレンマ”状態
- ・デジタルトランスフォーメーション、AI(人工知能)の技術戦略へのインパクト



25511

2. 技術を核に事業成長・企業成長を実現している企業の存在

- ・日立製作所(LUMADA)、ジャパンエンジンコーポレーション(燃料噴射・制御技術)
- ・中外製薬(中分子創製技術)、第一三共(ADC)
- ・富士フイルム(ヘルスケア)、東レ(炭素繊維)

3. 今求められる技術戦略とは

- ・技術戦略とは
- ・なぜ、技術戦略がこれまで機能してこなかったのか
- ・今求められる技術戦略のコンセプト(意義・役割、重要ポイント)
- ・技術戦略策定の基本プロセス — 事業と技術の「二軸同時革新」

4. 技術戦略の羅針盤となる事業ビジョン構想

- ・10年先を見据えた事業成長ビジョン構想
- ・「現・拡・新」バランス
- ・「有機的成长」と「M&A成長」

5. 技術戦略の礎となる未来志向の技術の棚卸しと評価

- ・未来に向けた有望新技術の抽出
- ・既存技術の棚卸しと体系化
- ・技術の評価(基盤度、競争優位性、成長性)
- ・技術ポートフォリオの作成による戦略技術(未来コア技術他)の設定

6. 技術戦略の価値を高める、技術を核とした新製品・新事業テーマ創造

- ・“0から1”を組織的に生み出すテーマ創造プロセスづくり
- ・CF(カスタマー・フォーカス)を機軸とした事業化構想・企画プロセスづくり

7. 技術戦略の具体化～技術ロードマップ再生とテクノロジープラットフォーム

- ・技術ロードマップの現在の問題と改善・改革方向
- ・新製品・新事業展開シナリオを描く
- ・同シナリオ実現に不可欠となる技術を抽出と期待水準を明確化(技術の仮想カタログ)
- ・テクノロジープラットフォーム構想 等

8. 戦略検討体制の事例

9. 質疑応答／名刺交換

今までのお申込み企業名です。ご検討の資料にしていただければ幸いです。

11月20日(木)『R&D人材に求められる技術リーダー』

(株)AIST Solutions

(株)NTTデータMSE

(株)TBSテレビ

(株)フジクラ

(株)東海理化

NTTドコモビジネス(株)

ソフトバンク(株)

パナソニック ハウジングソリューションズ(株)

パナソニックインダストリー(株)

三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)

三菱電機(株)

大同特殊鋼(株)

大日本印刷(株)

日鉄ケミカル＆マテリアル(株)

日本工営エナジーソリューションズ(株)

日本精機(株)

他

12月4日(木)『技術戦略は事業成長エンジン』

(株)BS朝日

(株)日本地域社会研究所

SCSK(株)

ヤマハ発動機(株)

他

●受講料 <セミナーのご案内①>

11月20日(木)『R&D人材に求められる技術リーダー』

各受講方法 1名につき 33,770円(税込) 同一フォームよりお申込の場合、2人目以降 27,500円(税込)

<セミナーのご案内②>

12月4日(木)『技術戦略は事業成長エンジン』

各受講方法 1名につき 33,660円(税込) 同一フォームよりお申込の場合、2人目以降 27,500円(税込)

※各セミナーへお1人ずつお申込の場合は割引対象外となります。ご了承ください。

※会場又はライブ配信受講者様で、アーカイブ配信もご希望の場合は追加料金11,000円(税込)で承ります。

●お申込方法 二次元バーコード、又はFAXにてお申し込み下さい。

折り返し受講証、請求書、会場地図(会場受講のみ)をメール(PDF)にてお送りいたします。

お申込み後、3営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。

(セミナー会場にて受講される方は受講証画面を提示、もしくはプリントアウトしてご持参ください)

※お客様のご都合でキャンセルされる場合は、「開催1週間前まで」にお申し出下さい。

その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。

●お支払方法 請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。(遅れる場合はご相談下さい)

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。

可能な限り講義に盛り込んでいただきるので受講証に同封の用紙でご連絡下さい。

■ライブ配信について

<1>Zoomにてライブ配信致します。

<2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ視聴用URLとID・PASSを開催前日までにお送り致します。

開催日時にZoomへご参加ください。

■アーカイブ配信について

<1>開催日より3~5営業日後を目安にVimeoにて配信致します。

<2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用URLをお送り致します。

<3>動画は公開日より2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴頂けます。

貴社名

所在地

○印をお付けください(ご自宅・お勤め先)

いずれかの□に必ず印をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ□をお入れ下さい。)

11月20日(木)

会場受講

ライブ配信

アーカイブ配信

12月4日(木)

会場受講

ライブ配信

アーカイブ配信

フリガナ
氏名

所属部署・役職

T E L

() -

F A X

() -

E-mail

ブロック体でのご記入をお願いいたします。

*「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

通信欄

■主催(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所

お申込み受付 FAX 03-5532-8851

〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

Tel:03-5532-8850 / E-mail:info@ssk21.co.jp / URL:https://www.ssk21.co.jp

※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。

25552・25511-M